

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆23年度の地方歳出、3年連続減少 コロナ対策費は6割減

・政府は地方自治体の決算概要をまとめた「2025年版地方財政白書」を閣議決定した。23年度のデータをまとめており、歳出は計112兆4220億円と前年度と比べて4.2%減。減少は3年連続。新型コロナウイルス対策の関連経費が前年度から6割ほど減少したことなどが響いた。物価高を背景に低所得世帯向けの給付金といった扶助費が増加した。

◆北陸新幹線延伸、京都で初の自治体向け説明会

・国土交通省と鉄道建設・運輸施設整備支援機構(鉄道・運輸機構)は北陸新幹線の敦賀―新大阪間の延伸を巡り、経路地の京都府内の自治体向けに説明会を初めて開いた。府内には財政負担や地下水への悪影響などに対する懸念の声が強い。国側は説明会を重ね、自治体の理解を得たい考え。

◆キャリア官僚の人材確保「危機的」 大企業並み報酬を提言

・人事院の有識者会議「人事行政諮問会議」の最終提言はキャリア官僚らの報酬を大企業に準じて決めるよう求めた。民間企業が賃上げを競う一方、国家公務員の待遇改善は遅れている。霞が関に新卒・中途で優秀な人材を集められるかどうかは国際競争力を左右する。国家公務員志望者の減少や若手の離職増加といった課題への対応を迫った。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆アイカ工業、住器建材を値上げ 7月1日出荷分から

・アイカ工業は住器建材の設計価格を7月1日出荷分から改定すると発表。値上げ幅は10%程度。対象製品は、カウンター、メラミン扉、トイレブース、収納、インテリア建材など。原材料価格の高騰に加え、物流費や人件費などの各種費用が上昇を続けるなか、合理化等によるコスト削減を続けてきたが、限界を超える状況に至ったとしている。

◆米国鉄スクラップ2割高、トランプ関税で 日本にも波及

・トランプ米政権による鉄鋼への追加関税の影響が製鉄原料に跳ね返ってきた。主に電炉での製鉄に使う鉄スクラップは需要増の思惑から米国内の価格が2割上昇。米国は世界最大の鉄スクラップ輸出国で、米国内価格の上昇は世界の相場を押し上げ。製品価格の下落に悩む世界の鉄鋼メーカーに原料高が追い打ちとなりかねない。

◆建設工事受注高、1月は26%増 元請・下請とも2ケタ増

・国土交通省が公表した「建設工事受注動態統計調査」(2025年1月分)報告によると、1月の受注高は前年同月比26.1%増の8兆1614億円となり、10カ月連続で増加。このうち元請受注高は5兆1051億円で同27.5%の増加。下請受注高は3兆564億円(同23.8%増)で、ともに大幅に増加。

《 注目商品 》

■ノーリツ、「Nest(ネスト)2口」「Fami(ファミ)2口」

・少人数世帯など暮らしの多様なニーズに対応するため、中級価格帯のガスビルトインコンロ「Nest」の2口タイプを新たにラインナップ。普及価格帯の「Fami」の2口タイプもリニューアル。



■リンナイ、既築集合住宅エコジョーズを刷新「RUF-TE」

・既築集合住宅用の高効率ガス給湯器エコジョーズの「RUF-TE」シリーズをモデルチェンジ。運転時に発生したドレン水を業界最小サイズに小型化。別売りの「ドレン排水切替ユニット(三方弁)」から浴室の排水口へ排水、排水経路の新設が困難な環境での取替工事にも対応。



■スタイリッシュで手入れがしやすいレンジフード

・フジテックメンテナンス、壁取り付けタイプのレンジフード「AGGシリーズ」の「ARIAFINA(アリアフィーナ)」のブランドフィロソフィーを踏襲し、細部までこだわったスタイリッシュなデザインが特徴。調理状況を温度センサーで検知、自動でコントロール。

